

# 宣教支援センター

全国支援・地域協働プロジェクト  
バプテスト北九州地方連合  
宣教支援センター  
ニュースレター◆ 第4号

## 私たちの宣教支援センター



伝道委員長 伊藤光雄



「あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。」

——コリントー12章27節——

7月5日(日)の地方連合臨時総会で宣教支援センターの活動方針、計画、並びに修正予算が承認されたことを受け、その後の宣教会議で「教会元気プラン」の最初のケースとして防府教会の事例が紹介され宣教支援センターと地方連合諸教会との協働が始まりました。

私たちバプテスト教会は各個教会の主体を重んじますが、教会は他の教会と共に立つ存在です。しかしこれは比較的規模の大きい教会が他の教会を支援する、あるいは比較的小規模の教会が他の教会から支援を受けるといった関係ではありません。

私たちのキリスト教会は、主イエス・キリストにあって一つであり、一つ一つの教会はその部分であるのですから、互いに支え合い、共に立つことが協力伝道ではないかと思えます。ですから「各個教会はそれぞれに独立しているから…」ではなく「各個教会はキリストの体であるから、互いに憶え合い、支え合い、共に立とう」という思いを共有する信仰共同体でありたいのです。

私たちの北九州地方連合は教会の解散、閉鎖、つまりキリストの体である教会を失うという痛みを経験しました。だからこそ私たちはキリストの体である各個教会のために祈り、共に立つ交わりへと一歩踏み出していきたいと思えますし、それが私たちの「協力伝道」です。私たちは宣教支援センターの諸活動を通じた協力伝道によって神の恵みの豊かさを実感すると共に、新たな信仰の励ましが与えられることを固く信じて歩みたいと思えます。



## ◇教会訪問記◇

### ⑩ 北九州教会 ..7月13日(月)



北九州教会はJR戸畑駅から徒歩3分という交通至便な場所にあります。児玉一郎牧師は、教会の働きのかたわら、連合音楽委員長・連合牧師会幹事として多くを担ってくださっています。また、お連れ合いのチヅ子姉は、連合女性会の会長として誠実に尽くされています。

北九州教会の歴史は古く、1929年にナオミ・シェル宣教師によって始められた「隣光舎」の働きにまで遡ります。「隣光舎」の社会福祉活動のひとつである保育事業は、時を経て戦後も継続され、現在「ナオミ愛児園」という名前で地域の方々に親しまれています。園長の平沢茂先生のお話では、隣光舎・ナオミ愛児園の卒園生や保育士などの働きに就かれた方々が、連盟の諸教会・伝道所にはたくさんおられるとのこと。

北九州教会は、1965年に戸畑教会から30名の信徒が派遣され、日笠進二牧師を中心に開拓伝道がスタートしてから今年で50年。現在、記念事業として証し集の作成を進めているそうです。

長い歴史を刻みつつ歩む北九州教会。その存在は連合の仲間としてとても頼もしく、さらなる歩みのうえに主の支えと導きを祈りたいと思います



### ⑪ シオン山教会 ..7月15日(水)



シオン山教会は西南女学院大学・短大のキャンパスに隣接した丘の上にあります。教会のすぐ隣には愛の園保育園、近くには短大付属のシオン山幼稚園があります。

2022年7月に創立100周年を迎えるにあたり、早くも100周年委員会が組織され、「なぜ、ここに、シオン山教会が与えられているのか」というテーマで議論を始めているそうです。

今一番の願いは100名礼拝の実現。そのために、新来者・求道者の迎え方や教会学校の持ち方、託児についてなど、各委員会で多角的に見直し作業を進めているとのこと。ちなみに、6月の花の日礼拝は99名!

礼拝堂・教育館全体のエアコン設置や、夕礼拝の場を教育館二階から一階へ移したりと、教会の営みによりふさわしい形を常に模索・実行されているようです。

伊藤光雄牧師はお話のなかで「シオン山教会から北九州連合の協力伝道を外すことはできない」とおっしゃいました。連合の総会・諸集会のために度々用いられているシオン山教会。そのホスピタリティに感謝しつつ、宣教支援センターの働きにおいても、私は大変心強く思っております。



## ⑫ 枝光教会 ..7月15日(水)



八幡製鉄所の世界遺産登録に湧く枝光本町商店街から少し入ったところに枝光教会があります。青と黄色の鮮やかな看板に誘われて会堂へ入って行くと、礼拝堂に掲示されたダイナミックな書が目を引きまします。「あなたがたを休ませてあげよう」そして「ごゆっくり」。

岩崎一宏牧師は、枝光教会に赴任されて今年で21年目。私がお伺いした日も、教会の前庭に立つ岩崎牧師を見つけ、ご近所の方が親しく声をかけて来られました。歲月とともに温かい関係を築かれているようです。

教会で力を入れている行事のひとつに、秋のバザーがあります。手作りジャムやみそなど、味はもちろんパッケージにも心をこめて並べられた自信作の数々は、毎年地域の常連さんからとても喜ばれているそうです。

疲れを覚えている方、孤独の中にある方が、ここに来て心の重荷をおろしてゆっくり休むことのできる教会。枝光教会の基本姿勢は二枚の大きな書に宣言されています。その事柄をさらにもう一步深めて、枝光教会は未来へ向けて何を目指すか。岩崎牧師は、来る9月13日(日)に自ら講師として教会研修会を計画。メンバーの皆様と意思を分かち合いつつ、牧師としてのビジョンを打ち出していきたい、とのお話でした。



## ⑬ 大分教会 ..7月22日(水)



大分教会は春の連合牧師会でお伺いして以来、二度目の訪問。村田悦牧師を含め9名の方々が迎えてくださいました。

今、大分教会では子どもと共なる礼拝の実現に力を注いでおられます。きっかけは三人のお子さんがおられるご家族の転入会。村田牧師は「大人向けの説教も子どもメッセージも、伝えたいことは同じです」と語り、子ども達にとって楽しく分かりやすいメッセージを目指して、視覚教材を活用するなど工夫をこらしておられます。

7月12日(日)には大分教会から臼杵教会へ9名の伝道隊が派遣され、証しと賛美のより豊かな礼拝プログラムが実現。その証しを通して、臼杵教会の求道者の方がバプテスマに導かれる！ということが続いているのだそうです。伝道隊派遣の働きが、双方の教会において、ともに喜びの実を結んでいるという事実、私自身大変励まされました。

教会の課題として、ミッションステートメントの共有が挙げられました。メンバーお一人お一人が、主から与えられた教会の使命(ミッション)に生きるとはどういうことか。これは大分教会のみならず、同じキリスト者として、連合28教会共通の課題とも言えます。私も日々奮闘している一人に過ぎません。



## ⑭ 臼杵教会・・7月22日(水)



臼杵教会は北九州連合で最も南に位置する教会です。松永正俊牧師は、臼杵に数多く残るキリシタン史跡の研究にも携わっておられます。自ら案内役を務められたキリシタン史跡めぐりのDVD(韓国のキリスト教系テレビ局制作)は、近隣の教会にもお配りして、福音伝道のために大いに用いられているとのこと。

毎月2回行われている「ひつじ倶楽部」。その日は表通りにかわいい案内板を掲げて近所のご婦人を教会へ招き、手芸カフェを催します。バザー出品を目指して、手仕事とお交わりの楽しいひととき。一人でも多くの方を教会に迎えたいという松永牧師ご夫妻の思いが実っています。

臼杵教会を含む大分地区では、教会間の交流がさかんに行われています。最近では、別府国際教会から臼杵教会へ、奏楽奉仕者を定期的に派遣して、ピアノレッスンを支援するという計画がなされているそうです。

教会の幻として、宣教70年を迎える2022年度までに、会堂の改築もしくは増築を実現したいというお話を伺いました。距離を越えて、連合の仲間として、ともに祈りに覚えたいと思います。



教会訪問記まだまだ続きます

## ■編集後記

「8・15平和 北九州キリスト教会連帯集会」がシオン山教会にて開催。安保法案の国会審議が進んでいるなか、参加者は190名を越えました。河島幸夫先生、奥田知志牧師の講演を通して、絶対平和を唱えることができるのはキリスト教会のみであることに心改まりました。敵を愛するという難事はキリストによってすでに成就しているのだから。戦後70年の節目でもある今こそ、私たちキリスト者は、教会は、心をひとつにして平和への希望に堅く立たなければ!と強く思いました。(齊藤弘司)



## ■主事の予定

8/30(日) 運営委員会・常任委員会(小倉)

9/2(水) 折尾教会訪問

9/20(日) センター開所式・主事就任式

午後3:30から  
東八幡教会にて。  
お集まり下さい!

発行日	2015年8月27日
発行責任者	山田 雄次
発行所	
〒805-0015	
北九州市八幡東区荒生田 2-1-40	
東八幡キリスト教会内	
連合宣教支援センター事務局	
TEL&FAX (093)651-6669	